



北アフリカ地域ニュース

エジプト・イラン：二国間関係

(9月18-19日付現地報道)

A. エジプトでの報道：

1. 9月18日、アラグチ次官を含むイラン外務省関係者がカイロを訪問し、エジプト・イラン両国外務省による協議が行われた。両者は、二国間関係及び地域問題を中心としてハイレベルの対話の継続を合意した。
2. エジプト外務省報道官は、「今回のイラン外交団の訪問は、両国関係の強化を目的として対話及び協議を進めるという前回の協議での合意の枠組みにおいて行われ、両国が関心を有する多くの問題を話し合った」と述べた。
3. エジプト外務省多国間問題担当次官は、次の通り述べた。
 - (1) エジプトとイランは、相互に建設的な協力を行っており、二国間に差し迫った問題はない。(両国間関係の改善について) エジプトは、非同盟諸国における協力といった相互に抱える数多くの問題で、イランと協力をしている。
 - (2) イランとエジプトは、途上国が人権問題に大きな関心を有し、建設的な役割を果たしていることを示すため、肩を並べて人権問題に取り組むべきである。
 - (3) (イラン核問題に関し) エジプトは、平和目的で原子力技術を保有する国の権利を支持する。

B. イランでの報道：

1. エルハーム政府報道官の発言：

(イラン・エジプト関係について) 我々は、既に述べている国(イスラエルを指す)を除き、全ての国との関係拡大をアジェンダとしている。数カ月前に、アフマディネジャード大統領がエジプトとの関係拡大を表明している。我々は、現在も大統領により表明された政策は生きており、如何なる変更もない。

2. ホセイニ外務報道官の発言：

(アラグチ法律・国際問題担当外務次官のエジプト訪問について) 今回の訪問で双方は、国際及び地域問題について意見交換を行うと共に、二国間関係についても意見の交換を行った。今回の意見交換において、双方は、両国間の協議を様々なレベルで継続していくことに合意した。